

信濃川の恵みは地元で落ちることなく、ほとんどが東京に持って行かれています。本来の川の恵みがもっと地元で落ちていたら違った状況になると思います。



は、川の恵みのほとんどが電気にかえられ、川沿いに落ちるべき恵みが収奪されています。例えば、小千谷にはJRの大きな発電所があり、東京の電車を動かしていますが、飯山線は電化されていません。阿賀野川についても、尾瀬まで17基のダムが階段状にあって発電されているのに、磐越西線も電化されていないという状況です。

本来の川の恵みがもっと地元で還元されていたら違った状況になっていたと思います。こうした矛盾を解決できる方向にベクトルを向けたいと思いながら取り組んできました。定年まであと6年の任期のうちに解決の方向を見届けて退官できればなと思っています。もっとも新潟に永住するつもりですので死ぬまで関わるかなと思っています。

現在は、田舎に住んでいる人の方が東京に住んでいる人よりもずっと誇りを持って生きているように感じます。それは、時代とともに意識や価値観が変わり、物質やお金に換算できない豊かさがあると実感できてきたのだと思います。その辺の価値観に

私の研究がマッチして受け入れられているのではないかと考えています。

なくしてしまった豊かな日本の自然

縄文時代から高度成長時代に入る前までの日本の自然は豊かで生産力がありました。縄文時代は狩猟・採取社会でありながら定住社会をつくっていました。日本の自然の生産力が高かったため、他の文明では見られなかったことです。江戸時代でも、今考えられるほど貧しくはなかったようです。例えば、何も生産しない良寛さんを養うような豊かさがありましたし、越後には間引きもなかったようです。我々はそんな豊かな自然と共生関係を結ぶ“^{わざ}技”を持っていたのです。しかし、現在はその豊かな自然も“^{わざ}技”もなくしてしまいました。縄文から続いてきた自然をわずかここ40年で破壊してしまったのです。

第二次世界大戦後の窮乏時代に餓死した人はいなかったと思います。しかし、現在

新潟は縄文文化のメッカ。 日本の自然の原点は新潟。

の不況から、もし大恐慌が起きたら、この自然と“^{わざ}技”を失った状況では餓死する人が多く出るのではないかと思われます。『国破れて山河あり』といいますが、現在は『国栄えて山河無し』の状態になってしまいました。

市場経済一辺倒で進んできた弊害です。効率という名のもとに普遍的な価値が一つという発想で、多様性がなくなって、足腰の弱い自然になってしまったのです。現在は日本の自然の大転換期にあっています。残念ながら、縄文からの自然の再生は無理だと思いますが、少しでも回復させる必要があるでしょう。

個々の価値を評価 たわいもないことに
感心する心

今後は、効率的生産からの脱却をはからないといけないと思えます。市場経済価値とそこからこぼれた価値をどうつなげていくのか。新しいネットワークづくりによる共存が必要になると思われます。それには個々の価値をもっと評価し、たわいもないことを感心する気持ちや好奇心が大切な要素になってくると思います。



雪は近代技術で克服しきれない存在で、近代的な生活には障害になります。新潟人は雪のお蔭で、いわゆる単純な近代的な都会人になりきっていません。むしろ、そこに大きな価値があるのではないのでしょうか。

日本の自然の原点は新潟 自然と共生を
目指す学生は新潟大学へ!!

世界最古の土器は新潟の上川村から出土しています。「新潟は縄文文化のメッカ。日本の自然の原点は新潟」そして、自然と共生を目指す学生は新潟大学に行くしかない!!とPRしていきたいですね。それと、トキを野生化させたいです。これは、大学の大きなテーマにしてもいいと思っています。

インタビューを終えて



「水ガキよ、大志を抱け！」

風薫る5月28日の午後、私たちは工学部大熊研究室を訪ねた。脱ダム宣言で有名な「長野県治水利水ダム等検討委員会」の委員や、NPO法人「新潟水辺の会」会長も務める大熊孝教授に、研究の醍醐味を伺うためである。ご多忙のなか、90分のインタビューに応じて下さった。

落ち着いた口調の端々に、我々が高度成長社会

のなかで失ってきた大事なものを回復しなければならぬ、という強い意志がにじむ。人や川や森のありのままの姿を取り戻すという発想の原点は、どうも大熊少年の生活経験にあると見えた。今の学生には自然に対する興味と知識が希薄で、それが何よりも残念と言われる。よく遊ぶ学生の方が伸びるものだ、とも。「悪ガキがお好きですね」と問うと、「いや、水辺で我を忘れて興じる水ガキがいい」とのお返事だった。なるほど、水ガキですか。利根川や信濃川の研究をライフワークとするに至るその原風景が見えたような気がした。

(教育人間科学部 石坂妙子)